

ニホンシカ被害対策を発表

高知市環境教育部会にて

八月二日(月)局大会議室において、平成二九年度高知市教育研究会「環境教育部会」が開催されました。

「環境教育部会」は、高知市小学校・中学校の教職員で構成、環境教育に関する研修等を実施する部会です。当日は、前田博史さん(天然写真家)による高知城周辺で、樹木や草花を撮る写真撮影の手法について指導等を受けました。(写真上)

この部会の中で、四国森林管理局技術普及課からは安藤課長補佐が「四国の国有林におけるニホンシカ被害対策の概要」を発表しました。(写真下)

内容は、ニホンシカの生態や特徴、生息数の推移、食害対策(シカ防護ネット、ツリープロテクター、囲いわな等)、動画によるシカ捕獲状況等です。発表後、教職員から、貴重な話を聴くことができた。児童にも聴かせたい等の声も寄せられました。



誌上 森林環境教育

暮らしを守る森林

目標

- ①葉の仕組みや働きを理解する。
- ②葉が大気中のチリを取り除いていることを知る。

準備

ティッシュペーパー、顕微鏡、電気スタンド、スライドガラス、セロハンテープ、いろいろな場所で採集した葉。

手順

- ・道路側と校庭側の葉の汚れ具合を予想。
- ・道路側と校庭側の葉の汚れを比較(水を含ませたティッシュペーパーで葉を拭いて、汚れ具合を比べる)。
- ・気孔に詰まった黒いチリを顕微鏡で観察。

まとめ

結果を発表、道路側と校庭側を比較、葉の、緑のフィルターの役割について考える。

(大日本山林会 日本の森林と林業より)

編集後記

季節は初秋の候に。ようやく暑さも一服感。スポーツ・食欲の・・・
少し身体を動かしてみるか。

「銘木」って

知っ得
豆知識



(ヒノキ)

銘木と言えば、昔から三大唐木と呼ばれた黒檀(コクタン)、紫檀(シタン)、鉄刀木(タガヤサン)などを思い浮かべる人が多い。コクタンやシタンなどは、東南アジア産で遣唐使によって中国を経てわが国に。

国内産の樹種でも、各地で永年にわたり風雪に耐えた巨樹や名木、著名な産地の木材、秋田スギ・青森のヒバ・木曽のヒノキ・屋久島の屋久スギなど。

装飾性や希少性が高く、床柱、欄間(らんま)、天井板、家具、楽器などに使われる木は銘木と呼ばれます。

因みに、ヨーロッパを経て輸入されたマホガニーやヒッコリー(ともに北米原産)は、チーク(東南アジア原産)とともに、世界の三大銘木。なお、アッシュ(北米原産)を加えて四大銘木とも。銘木は、木材の杣(もく)や木目などとともに木を愛好する日本人の美意識の所産であり、木の文化の核心と言える。

(子ども樹木博士ニュース59号より)